

「遠山椿吉記念 第8回 健康予防医療賞」 4月1日から公募開始

令和5年6月末日締切で、予防医療をテーマとした原著論文を募集

一般財団法人東京顕微鏡院
医療法人社団こころとからだの元氣プラザ

「遠山椿吉記念 第8回 健康予防医療賞」募集について：

令和5年度は、将来の予防医療のテーマに先見的に着手したものを重点課題とします。

たとえば、「近い将来の健康診査の方法論を変えるような研究」、「健康診査の受診の機会を高め、医療経済面での効果がみられ、健康診査の精度向上に資する研究」、「健康寿命の延伸に関する研究、認知症の予防と進行の遅延に関する研究など、超高齢社会構造における予防医療に関する研究」、「公衆衛生の発展に資する研究」、「こころの健康づくりにおける研究」、「性差医療に関する研究」などです。

応募対象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文

応募期間：令和5年4月1日より6月30日（消印有効）

副賞：賞金300万円

- ※ 原則として最近の業績を評価対象とします。業績とは、原則として過去10年以内に発表された原著論文とし、それに準ずる活動報告書の添付も可能とします。※論文は利益相反が開示されているもの。
- ※ 遠山椿吉賞選考委員会において論文を選考の上、1件を採択し、10月に発表します。
- ※ 優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる40歳以下の応募者（年齢は応募年の4月1日現在）に対し、研究の更なる発展を奨励する目的で「山田和江賞」を設け、顕彰します。「山田和江賞」の受賞は将来の「遠山椿吉賞」の応募・受賞を妨げるものではありません。

応募方法など、詳しくは、東京顕微鏡院ホームページ

https://www.kenko-kenbi.or.jp/koueki/koueki-chinkichi/#info_kenkoyobo をご覧ください。

本賞の趣旨：

病を早期に発見し、発見したものを治療へつなげるという予防医療の基本目標について、地道に社会への貢献を追求する研究者を顕彰する賞と位置づけています。

遠山椿吉とは：

遠山椿吉は、明治時代に、日本で初めて臨床検査の民間専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、人々のいのちを守るため公衆衛生に力を尽くした細菌学者・医学博士です。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、東京に安全な水道水の供給を実現して伝染病予防に努め、予防医療を提唱し健康診査や衛生指導を実施しました。臨床検査、飲料水等の検査、顕微鏡技術者養成、顕微鏡検定、学会誌発行などを展開するとともに市民に対する啓発活動に努めました。

明治41年ロベルト・コッホ博士来日の折、遠山椿吉博士は、華道に造詣が深かったことから、コッホ博士、北里柴三郎博士を招いて「生花の会」を催し、共にひと時を過ごしています。

お問い合わせ先：

一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 担当 飯島、川崎

TEL:03-5210-6651 メール: koueki@kenko-kenbi.or.jp

ホームページ: <https://www.kenko-kenbi.or.jp/> <https://www.genkiplaza.or.jp/>